

令和 7 年版「新潟県の環境」を作成しました

令和 6 年度における新潟県の環境の現状と環境保全の施策を、令和 7 年版「新潟県の環境」として取りまとめましたので、公表します。

<概要>

本県の環境は、全般的に概ね良好な状況となっていますが、気候変動や野生鳥獣被害など、近年の環境情勢の変化を踏まえ、引き続き各分野での取組が必要です。

分野別の状況と取組の概要は、以下のとおりです。

○地球温暖化

- ・令和 5 年度の温室効果ガス排出量（森林吸収量を差し引いた実質排出量）は、1,966 万トン（CO₂ 換算、速報値）で、基準年（平成 25 年度）の排出量に比べ 30.1% 減少となりました。
- ・脱炭素社会の実現に向け、オール新潟で取組を加速化するため、「新潟県脱炭素社会の実現に関する条例」を制定しました。

○自然環境

- ・豊かで多様な自然環境が概ね維持されている一方で、ツキノワグマによる人身被害 7 件（7 名）が発生しました。
- ・ツキノワグマによる人身被害防止につなげるため、出没状況等をリアルタイムでより見やすく確認できるよう、「にいがたクマ出没マップ」をリニューアルしました。

○資源循環

- ・令和 5 年度の一般廃棄物排出量は、74 万 9 千トンと前年度に比べ 3 万 8 千トン減少、産業廃棄物最終処分量は、11 万 6 千トンと 2 万 4 千トン減少しました。
- ・事業者等と連携し、食品ロスや使い捨てプラスチック削減の呼びかけなど、日常における 3 R 推進に向けた取組を進めました。

○生活環境

- ・大気、水質等の環境基準は、概ね達成しました。
- ・有機フッ素化合物の一種である PFOS 及び PFOA について、本県の実態把握のため、16 河川 25 地点において調査を実施し、暫定指針値を超過する地点がないことを確認しました。

※令和 7 年版「新潟県の環境」は、県ホームページで公開しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kankyo/>

本件についてのお問い合わせ先

環境政策課環境政策係　〔担当〕高橋

（直通）025-280-5149　（内線）2692